

なくそう核兵器 つないでつないで 東京から平和を

お花見平和のつどい・2015 開催報告

日時：2015年4月4日（土）

会場：江東区夢の島 第五福竜丸展示館

参加人数：160名

主催：第五福竜丸から平和を発信する会 以下8団体

東京都地域婦人団体連盟、主婦連合会、東京都地域消費者団体連絡会、
第五福竜丸平和協会、一般社団法人東友会（東京都原爆被害者団体協議会）、
原水爆禁止東京協議会、日本青年団協議会、東京都生活協同組合連合会



開会挨拶
端山 澄子さん

第五福竜丸のエンジンが第五福竜丸展示館前に設置され、船とエンジンと一緒にしてから15年。今年も咲き誇る八重紅大島桜に見守られ、お花見平和のつどいが開催されました。あいにくの小雨と風のため全日館内での開催となりましたが、多くの参加がありました。

おなじみの「花」の合唱のあと、東京地婦連端山澄子さんのごあいさつで開幕し、午前の部は映像と語りによる『70年目の被爆者』と『福竜丸エンジン～核なき世界への旅』。午後の部は「ピースミュージック」と「ヒロシマ・ナガサキ70年に際して」、参加者にメッセージをお願いしたNPT再検討会議に届ける「横断幕の紹介」と「参加者へのインタビュー」を行いました。

被爆70年の今年は特にその歳月を思いやり被爆者へ思いを寄せ、またそれぞれの活動を共有し、平和へのさまざまな思いを語り合えた一日となりました。

◇◇70年目の被爆者◇◇



東京の被爆者団体東友会より、ヒロシマとナガサキの70年前のあの日の様子与被爆の実態、その後の被爆者の生活と核兵器廃絶の活動が、被爆者である木村徳子さんより語られました。

映像で見る被爆の状況、放射線被害の実態は私たちに核兵器による被害の悲惨さを突きつけました。そしてそれがその場だけでなく、生き残った被爆者の未来、すなわち今日まで続いていることを改めて教えてくれました。

被爆者手帳を持つ方がピーク時の半数となり、高齢化が進んでいること、東友会が行っている相談窓口には多くの相談が寄せられてきていることも知りました。原爆展や証言活動など被爆体験を今に伝える活動と核兵器廃絶運動には特に力を入れていること、被爆者が国に補償を求めて訴訟を起こし、今も戦い続けているとも訴えました。原発事故も含めて、“再び被爆者をつくらせない”ことを強く念じて活動を続けていることが報告されました。

最後にNPT再検討会議派遣メンバー一人ひとりが被爆時の状況と合わせて紹介されました。

福竜丸のエンジン～核なき世界への旅

第五福竜丸平和協会の安田和也さんより第五福竜丸のエンジンについてのお話が映像とともに話されました。

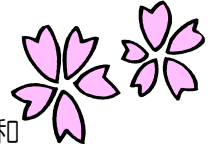
福竜丸はビキニ環礁での被爆前はマグロ漁船として活躍し、被爆後も水産大学の練習船として復活、その後福竜丸の船体は廃船となりましたが、エンジンのみが貨物船に搭載されて航海中台風により熊野灘に沈んだ、という歴史が話されました。廃船となった福竜丸の船体は市民の核廃絶の願いによって保存が決まり、東京都が建てたこの展示館に保存されました。一方エンジンは海から引き揚げ船体と一緒にしようという、これもまた市民の思いで遠路運ばれ、塩抜き処理の後、2000年1月「お帰りなさい集会」でこの地に設置・披露されたのです。その際東京地婦連により植えられたのが八重紅大島桜。エンジンは残留塩分により錆がひどく保存に不安もある中でも、桜に見守られ、船とともに市民の核廃絶の思いを乗せて、核なき世界へ向け今も航海しています。





今年のピースミュージックは『松島よしおさんとその仲間たち』をお迎えしました。深く澄んだ歌声が館内に沁みとおり、福竜丸や平和への思いのこもった歌が披露されました。

第五福竜丸を歌った『証しの船』、私たちの生き方を問われているような『どこにいればいいんだろう』など胸に響き、訴えかける歌が心に残りました。



「ヒロシマ・ナガサキ70年に際して」

各団体がそれぞれの活動と平和と被爆70年に際しての思いを発表しました。



原水爆禁止東京協議会
石村さん

NPTに参加し、被爆国の市民を代表して国連と世界に向けて核兵器廃絶のメッセージを届けたい。国連で原爆展も開き、市民の力で核廃絶へと流れを変えていきたい。



東京都地域消費者団体連絡会
寺田さん

原爆の問題も消費者の問題ととらえて活動していきたい。安全で安心できる発電を求め、原発は要らないと声をあげていきたい。



東都生協
石渡さん、
関さん

広島や松代など訪ね、体験文集を作成している。平和親子企画や地域で平和企画、東都生協平和のつどいでは戦争ホーキ（放棄）作り、「100万人のピースベル」など組合員参加の企画を広げている。



東京都地域婦人
団体連盟 大北さん

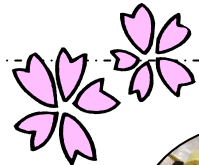
戦争を知る最後の世代として戦争の怖さ、平和の大切さを伝えたい。体験を語りつぐDVDを作成した。国の方向を変えられるのは選挙での皆さんの1票です。



主婦連合会
山根さん

平和憲法あってこそその活動だと思う。弱者への思いやりに欠けた政策に怒っている。平和憲法の重みを世界に届けたい。

日本青年団からは、「青年は二度と銃を取らない」という決意のもと平和運動に取り組み、今も活動しているとのメッセージが寄せられました。



横断幕の紹介



NPT再検討会議へ向けて書いていただいたメッセージを、東友会家島さんより紹介しました。この横断幕はニューヨークでのパレードに掲げられ、現地でもさらにメッセージを募ります。

折り鶴コーナー



今年も多くの方が立ち寄り、願いをこめて鶴を折っていかれました。ヒロシマ・ナガサキの平和式典に届けます。

インタビューコーナー

参加者にマイクを向けてインタビュー。

ご自身や団体の活動やこの会への感想、NPTへ向けての思いなど生の声を聞くことができました。



胎内被爆者として、被爆の体験はないがみんなの思いを持ってニューヨークに行きます。

ここ来ると、毎年毎年新しいことを知ることができてうれしい。



エンディング



折り鶴コーナー販売コーナーの報告と、都地消費連の奥田明子さんの閉会のあいさつの後、松島よしおさんたちの伴奏で参加者みんなで「青い空は」を歌って閉会しました。